

基本方針

- ・季節や時間帯に関わらず発生する災害に対し、避難拠点として有効利用できるようにする。
- ・主たる避難場所・避難所となる体育館を中心として、避難所機能を高める付帯施設を確保する。
- ・避難所機能を日常的な地域活動の場と重ねることで、施設の使用方法を共有するとともに適切な維持管理を行い、緊急時の利便性を確保する。
- ・バリアフリー環境を整え、高齢者、障がい者など多様な避難者に対応する。

計画条件

- ・300人程度の避難者数を想定(早来地区の住民優先)。
- ・性別や乳幼児・妊婦・ペット同伴者など、多様な避難者に対応。

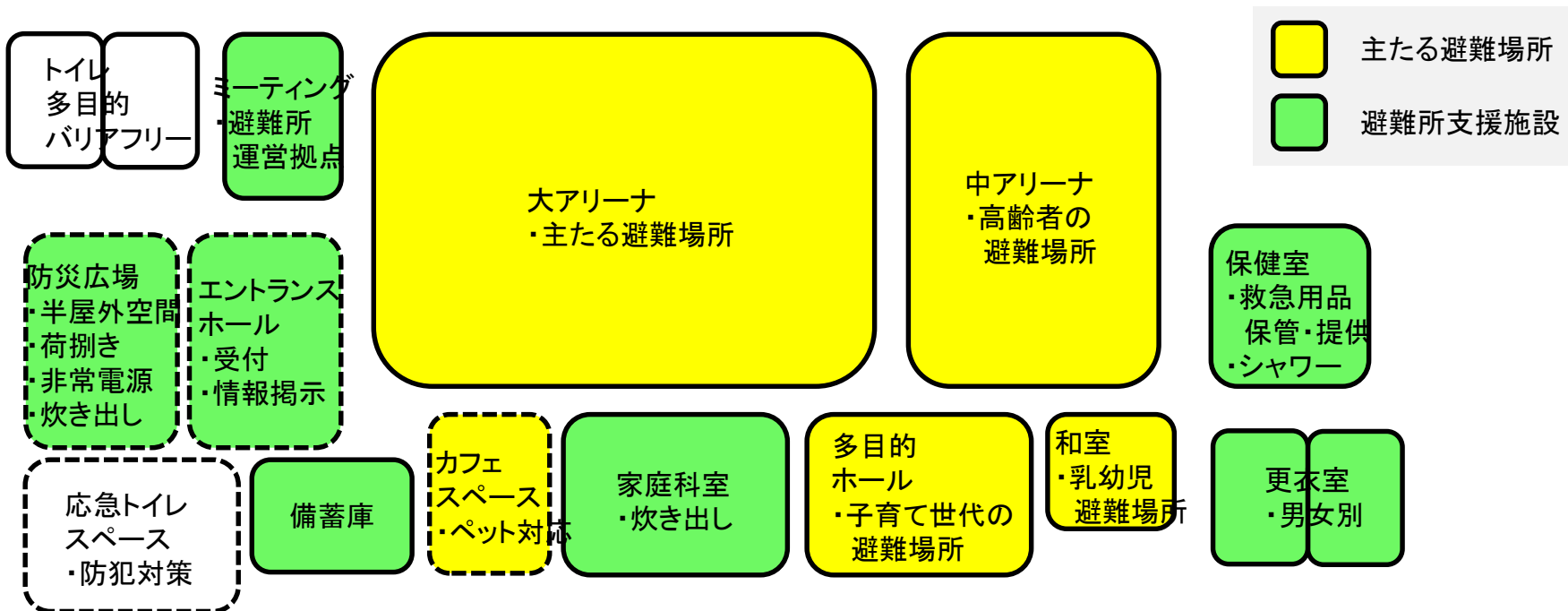


図. 避難拠点の考え方(案)